

新年のごあいさつ



日本商工会議所
会 頭 三村 明夫



福井商工会議所
会 頭 川田 達男

明けましておめでとうございます。
平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
昨年は、株価や為替の大きな変動など、振幅の大きい不安定な一年でした。今日我が国の最大の課題は、潜在成長率を引き上げることです。
まず、中小企業が直面している最大の課題に、「人手不足への対応」があります。深刻化する人手不足に對して、女性や高齢者など多様な人材の活躍を推進していくことが必要です。また、「生産性向上」においても、有力な手段として、ICT（情

報通信技術）を超えて、デジタル技術やAIの導入、ロボットの活用などにより、工場の生産現場やサービス分野の生産性の向上を図っていくことが必要です。
中小企業の「後継者の確保」の課題については、事業承継の支援を積極的に推進するとともに、大きなハードルとなっている「事業承継税制の見直し」へ提言を続けてまいります。
なお、地方創生の実現に向けて、観光産業は、自動車産業に次ぐ消費規模を持つ一大産業です。地方と都

市の広域連携により、各地域において、国際交流、ビジネスチャンスの拡大、観光振興等に積極的に取り組んでいただきたいと思います。また、商工会議所と農林水産業団体との連携によって付加価値の高い商品を開発し、海外も視野に入れ、広く販路を広げていくことが重要です。
日本商工会議所としても、515商工会議所、青年部、女性会、海外の商工会議所等との緊密な連携の下、企業、地域、そして、日本経済の持続的な成長の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

新年明けましておめでとうございます。新しい年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。当所は本年、地域経済の活力向上を目指し3つの方針で臨んでまいります。
1つ目が「中小企業・小規模企業支援の強化」です。小規模企業の振興や中小企業の「稼ぐ力」の向上に重点を置いた国の政策展開が進む中、企業支援の中核を担う商工会議所の役割と期待は益々大きくなってまいります。昨年当所は、支援体制強化のため金融機関、報道機関、百貨店との連携協定を締結いたしましたし

た。連携機関の強みと力を結集し、経営計画作りと販路拡大に向けた支援を強力に進めてまいります。また、事業承継、創業、資金繰り等多様な支援ニーズにも応えてまいります。
2つ目が「地域振興・活性化の推進」です。北陸新幹線の敦賀延伸を控え、昨年策定した「新幹線福井開業対策プラン」をもとに、まちづくり・観光・地域交通を含めた地元対策を着実に実行いたします。また、福井の「食」は地域活性化の大きな鍵です。新たな名物商品の開発や、商品の魅力向上を目指したプロジェ

クトを進めてまいります。
3つ目が「組織の活性化」です。上記2点を確実な成果に結びつけるには、商工会議所自体に強い組織力と行動力が必要です。会員増強、職員の資質向上など一層の組織強化を図ると同時に、時代とともに変化する企業や地域の要請に応えるべく、進取の精神を発揮した事業活動に積極的に取り組んでまいります。
平成29年酉年が、会員企業の皆様の飛躍の年となりますようご祈念申し上げますとともに、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。